



## 卒業式

風薫る3月、舟形中学校(16日)、舟形小学校(19日)で卒業証書授与式が行われました。卒業生たちは、恩師や友人・先輩との別れを惜しみながらも、慣れ親しんだ学び舎を巣立っていきました。



## 町の子どもたちのために

3月27日、株式会社八鍬建設(八鍬雅章代表取締役)から、庄内銀行「荘銀ふるさと応援私募債」の手数料の一部を活用した寄付金の贈呈がありました。同社は長年、町のインフラ整備に携わり、安心な地域づくりに貢献しています。創業110周年を記念し、「舟形小の子どもたちに楽しく学んでいもらいたい」との思いから寄付を頂いたものです。

町長は、「第7次総合発展計画でも子どもたちの未来は大きなテーマであり、有効に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べていました。



## 美しい「つや姫」づくりコンテストで1位に

山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進室本部が開催するコンテストで、JAおいしいもがみ南部営農センター稲作生産者協議会が、1位のGeneral Manager's Prizeを受賞しました。「つや姫」栽培圃場の美しさや生産者の熱意を動画で紹介し評価されたものです。

応募動画には、加藤陽介さん(富田第2)と長沼亮介さん(富田第2)が出演し、舟形の風土や稲作に対する思いなどが語られています。動画は「つや姫」Facebook(<https://www.facebook.com/tsuyahime/>)で見ることができます。



## 日本郵便株式会社と協定を締結

3月6日、町は日本郵政(株)と包括的連携協定を締結しました。この協定は地域活性化と住民サービス向上を目指すもので、「安全・安心な暮らしの実現」、「未来を担う子どもの育成」、「地域経済活性化」、「女性の活動推進」、「地方創生」などについて、お互いが有する人的・物的・知的資源を有効活用し連携を図っていきます。

町では、今まで以上に連携を強化し、安全安心なまちづくりを行っていきます。

## Old Kyu News(令和2年3月)



### 新型コロナウイルス感染症対策本部設置

2月26日、新型コロナウイルス感染症対策のため「舟形町新型コロナウイルス感染症対策連絡調整会議」を立ち上げ、3月6日に「舟形町新型コロナウイルス感染症対策本部」に移行しました。

現在、町では感染拡大予防のため、国の要請に基づいて行事やイベント等を原則延期または中止毎年行われている行事の中止や延期が相次いでいます。町内での感染は確認されていませんが、日々状況が変化しています。町民のみなさんが安全安心に暮らせるよう、国・県・町の対応を随時お知らせしていきます。今後も、手洗いやアルコール製剤での消毒、咳エチケットを心がけ、予防に努めていただきますようお願いいたします。



### みんなで豆まき

舟形町子育て支援センターみらいでふれあい育児の広場が行われました。

この日は節分にちなんで、みんなで鬼のお面を作り、鬼に向かって豆まきをしました。参加した子どもたちは元気に鬼を退治し、にぎやかな節分となりました。

## Old Kyu News(令和2年2月)



### 令和元年度 舟形町教関係功労者表彰

2月18日、令和元年度の教育功労者表彰式が舟形町中央公民館で行われました。この表彰は、町の教育・芸術・文科の向上と発展に貢献された方を対象に贈られるもので、今年度は16名の個人と3団体が受賞されました。なお、小中学生の表彰は各学校で行われています。

## Old Kyu News(令和2年2月)



### インターン生2名が学ぶ

東北公益文科大学2年の竹屋翼さん(長沢第1・写真左)と1年の大場清貴さん(福寿野・写真右)が2月10日から4日間、役場にインターンシップに来ました。

2人は実際に職員と一緒に業務を行うなど様々な体験をしました。竹屋さんは、「行政の立ち位置や公平性などが勉強になったほか、多面的に考えることの大切さを学べた」、大場さんは、「行政の仕事のイメージが変わった。また、この経験を活かして努力していきたい」と話してくれました。

## Old Kyu News(令和2年1月)



### 第33回新春町民なわとび大会

1月19日、新春町民なわとび大会がB&G海洋センターで開催されました。今年で33回を迎えたこの大会。参加した22団体約300名は、チームごとに1人ひとりが力を合わせて跳んでいました。また、町制施行65周年を記念し、餅まきも行われ大いに盛り上がりました。



### 舟形小学校で「書き初め」

1月6・7日、舟形小学校で書き初めが行われました。書き初めは年が明けてから初めて毛筆で字や絵を書くことを指すもので、日本の伝統行事の一つとなっています。子どもたちは、「新春の光」など学年ごとの目標や課題を、一文字一文字真剣に書き上げていました。みなさん姿勢も良く、堂々とした伸びやかな字で、一人ひとりの気持ちがこもった書き初めとなりました。

## Old Kyu News(令和2年1月)



### 無事故・無火災を祈願

1月5日、毎年恒例の舟形町消防団の安全祈願祭が中央公民館で行われ、今年1年の無事故・無火災を祈願しました。その後、消防団員の士気高揚を目的に行われた出初め式では、雪交じりの天候の中、本町通りで団員280名が堂々の分列行進を行った後、各分団が上空目がけて一斉放水を行いました。

加藤憲彦団長は「更なる精進を重ね、安全安心な町づくりに努めるよう」と訓示しました。

## Old Kyu News(令和元年12月)



### めがみちゃんが主任に就任

12月7日、舟形町PRキャラクターの「めがみちゃん」が町観光物産センターめがみの主任に就任しました。これは町制施行65周年事業のひとつとして行われたものです。

当日は、就任の記念として、ゆるキャラグランプリ事務局公式トレーディングカードの配布と、記念ポストカードの販売も行われました。来場したみなさんは、めがみちゃんと触れ合ったり、一緒に写真を撮ったりしました。



### アスパラガスの生産実績を称え表彰

アスパラガス生産者の加藤孝さん(堀内)と沼澤昭好さん(一の関)が、令和元年における10aあたりの収穫量が2tを超えたことから、12月3日、もがみアスパラガス生産協議会(大場幸一会長)より初の快挙を称えて表彰されました。

二人は、「手のかけ方次第で収穫量を高めることができる」、「妻の協力があつてこそその結果」と話してくれました。町では、引き続き産地化の支援に取り組んでいきます。

## Old Kyu News(令和元年11月)



### 3Dプリンターの「国宝土偶」を寄贈

11月29日、新庄神室産業高校3年生の庄司真央さん、野崎俊輝さん、五十嵐拓真さんが、3Dプリンターで製作した「国宝土偶」5体を町に寄贈しました。

これは、地域とつながること、学び続けることをモットーとする同校の生徒が、昨年に引き続き授業の一環として製作したものです。製作にあたった生徒のみなさんは「土偶の色を出すのが難しかったが、良い経験になった」と話していました。寄贈された国宝土偶は役場に展示しています。



### 災害時に備え株式会社ゼンリンと協定を締結

11月26日、株式会社ゼンリン総合販売本部東北第一エリアグループと、災害時における地図製品等の供給等に関する協定を最上管内で初めて締結しました。

この協定は町に災害対策本部が設置された場合、同社が提供する広域地図や住宅地図を活用した災害に対応するものです。そのほか、同社のインターネット配信サービス「ZNETTOWN」も利用できることから、町では連携を図りながら、町民の安心安全のために取り組んでいきます。

## Old Kyu News(令和元年10月)



### 自治体間連携フォーラム ～連携と災害を考える～

10月30日・31日、第5回自治体間連携フォーラムが舟形町で開催されました。これは東京都世田谷区と交流を図っている自治体が一堂に集まり、自治体間の連携や大学との連携を模索していくために行われているものです。



## 地区を語る会

10月23日から29日にかけて、旧小学校区ごとに2回目の「地区を語る会」が行われました。4地区全体で約100名が参加。前回話し合われた、地域でできそうなことを絞り込み、具体的に誰ができそうかなどの意見を出し合いました。

今回の話し合いで出された意見は地区ごとにまとめられ、「地区びじょん」として完成されていきます。みなさんの意見が盛り込まれた地区びじょんは、町第7次総合発展計画にも反映されます。



## 県内外から鮭調査釣りに

10月19日から11月10日まで、小国川鮭有効利用調査釣りが行われました。初日の19日には安全祈願祭が行われ、県内外から約20名の釣り人が集まり、調査釣りに参加しました。

小国川漁業協同組合(組合長 高橋光明さん)では、小国川の最上川合流点から上流800m地点で川幅いっぱい"止め"を作り、「ウライ」と呼ばれる仕掛けで鮭を捕獲。捕まえた鮭から採卵・受精させ、来年の春に稚魚を放流する取り組みを行っています。



## 就労施設「にじいろ」開所

10月1日、旧舟形児童館で就労継続支援B型施設「にじいろ」の開所式が行われ、約30名が出席し、開所を祝いました。これはNPO法事にじいろ(理事長 叶内富夫さん)が、企業などでの一般就労が困難な障がい者のみなさんに働ける場を提供する施設で、障がい者のみなさんが元気に生きがいを持って働けるようにと運営するものです。なお、場所は旧舟形児童館を町から無償で借り受けて活用しています。



## 10月から始まりました

10月1日より、2014年4月依頼となる、消費税率の8%から10%への変更がありました。今回の増税に伴い、軽減税率に対応したレジ導入補助や保育料の無償化、国によるプレミアム付商品券発行のほか、冬季の灯油購入費の助成など、さまざまな支援策が展開されています。

町でも、保育料において国では補えない部分について、さらに手厚く補助をするなど、関係機関と協力し取り組んでいきます。



## 災害時に備える

9月20日、災害時の応急対応や災害復興のために、車両および給電装置を借り受けることができるよう、山形三菱自動車販売(株)と災害協定を締結しました。

この日は協定署名のほか、実際の給電車両を使用してデモンストレーションも行われました。町では、今後も町民の暮らしの安心安全を守るため、災害に負けない強いまちづくりに取り組んでいきます。



## 笑顔 飛び交う やっさん一座の紙芝居

9月16日、中央公民館で舟形町読み聞かせ講演会が開催されました。今年で15年目になるこの講演会。親子で絵本や読書に親しんでもらおうと、町教育委員会と読み聞かせ連絡協議会(会長 阿部弘明さん)が行っています。

紙芝居という昔ながらの文化に触れることで、新鮮さとともに、どこか懐かしさをも感じられる講演会となりました



## 第39回ふながた若鮎まつり

9月7日・8日、アユパークを会場に第39回ふながた若鮎まつりが開催されました。まつり当日は、夏に戻ったかのような暑さの中、県内外から訪れた約20,000名の来場者でにぎわい、舟形町の誇る香り高いおいしい鮎のほか、鮎ご飯や芋煮、やまがた地鶏の炭火焼きなど舟形の秋の味覚を存分に堪能していました。今年では会場をリニューアル。ステージでは、舟形町芸術文化協会発表会や各種団体発表のほか、ゲストの工藤あやのさんや石原詢子さんの歌謡ショーなども行われ、会場は大いに盛り上がりました。



## 縄文の女神のすばらしさを

9月3日、青少年育成町民会議と町PTA連絡協議会の合同研修会が、中央公民館で行われました。研修会では、舟形中の3年生による縄文の女神に関するプレゼンテーションや、薫風窯の金寛美さんから国宝「縄文の女神」の価値についての講演をいただきました。

また、当日は花いっぱい運動の表彰式も行われ、えんじゅ荘に自分の育てた花苗を提供した、舟形中1年生の庄司 晋さん(太折)に特別賞が贈られました。

<優秀賞> 幅  
<優良賞> 富田、洲崎  
<特別賞> 庄司 晋さん



## 舟形町ミライ会議

8月28日から9月4日にかけて、4地区ごとに「地区を語る会」が行われました。4地区全体で主に若者層120名が参加。地域でできそうなことやチャレンジしていきたいことなど、これからの地域づくりにつながる意見を出し合いました。

また、地域びじよんの完成に向け、各地区とも2回目の開催を予定しています。各地区とも2回目の開催を予定しています。みなさんの意見が盛り込まれた地区びじよんは、町第7次総合発展計画にも反映させていきます。



## ユニバーサルデザイン車登場

8月24日、(有)星川タクシーが運行するデマンドタクシーの車両が、町の補助を受け新しく生まれ変わりました。これは国土交通省が認定するユニバーサルデザインタクシーで、子どもからお年寄りまで安心して乗ることができる設計となっていますので、ぜひご利用ください。



## 中高生が仕事を学ぶ

8月6日、舟形中学校の生徒や最上地区の高校生を対象に「ふながたジョブシャドウイング」が行われました。これは、働く大人を見て知ってもらおうと、「おかえり！孫プロジェクト」と「新庄・最上ジモト大学」との共催により行われたものです。

当日は10名の中高生が参加。町内企業等5ヵ所に分かれて担当者に密着しました。参加者からは、「働く大人のあたたかさを知り、地元で働くことに魅力を感じました」との感想がありました。



## 山岡信貴監督 × 町長 × 中学生 縄文トークショー by 縄文の女神まつり

8月3・4日、中央公民館で「縄文の女神まつり」が開催されました。3Dプリンターによる国土土偶のレプリカ展示や、実際に土器で煮た土器汁の振る舞いのほか、縄文時代を楽しめる食べ物や飲み物も販売され、多くの来場者でにぎわいました。

3日は映画「縄文にハマる人々」の上映会があり、さらにこの映画監督である山岡信貴さんと森町長、中学生による縄文トークショーも行われ、約300名が集まりました。

トークショーでは、監督から「縄文の分らなさ感が良い」「土器や土偶を見ていると人間ができることの可能性が広がる」などの縄文に対する世界観を語ってもらったほか、中学生からは「縄文の女神や縄文時代を調べて、これはすごいものなのだと知った」「現代では理解できない、いろんな謎が縄文にハマっていくことなのかなと感じた」などの意見が出されました。また、町長は「生きていく豊かさ、幸せの価値観というものを縄文人に学ばされる場所がある」と話していました。縄文の雰囲気にあふれた、貴重な1日となりました。





## 消防操法最上支部大会優勝

7月28日、第41回山形県消防操法最上支部大会が最上広域消防本部で行われました。町の代表として出場した第5分団第9部(富田)は3名が個人賞を受賞するなど、練習の成果を遺憾なく発揮し、町消防団としては第23回大会以来、18年ぶりの優勝を飾りました。

【指揮者】長沼 亮介

【1番員】☆石山 寿光

【2番員】☆高橋 亮太

【3番員】☆森 祐樹

【補助員】石山 裕治

☆・・・個人賞



## 舟形町初ドローンの技能認定試験合格

7月15日、伊藤和彦さん(沖の原)が「ドローンPROパイロット技能認定試験」に合格しました。この技能試験は、GPSなどの位置情報センサーを活用した自動姿勢制御に頼らないマニュアルでの操縦での技能を評価するもので、難しい試験ということです。

全国で29人目の認定者となった伊藤さんは、「ドローンの可能性を広め、活用していきたい」と話してくれました。



## 子どもたちが呼び掛け

7月4・6日、舟形小学校5年生の長澤隆玖さんと舟形中学校3年生の小西由紀乃さんが、防災無線でセーブメディア運動を呼び掛けました。この運動はテレビやゲームの時間を減らし、家族団らんの時間を増やすことを目的としています。

子どもたちが防災無線を活用し、直接呼び掛けるのは初めての取り組みです。長澤さんは、「緊張したけどうまくできた」、小西さんは「ゆっくり話すのが難しかった」と話してくれました。



## 地域の未来のために

7月5日、中央公民館で舟形町地域づくりフォーラムが開催されました。これは3年目を迎える住民主体の地域づくり推進事業の一環として行われました。

今回は、講師に島根大学教育学部教授の作野広和氏を招き、実際に地域に入って取り組みの事例や、地域の分析などから様々な提案をお話いただきました。このフォーラムをヒントにして、今後の舟形町の地域づくりにつなげていきます。

## Old Kyu News(令和元年6月)



### 親子で日本一の給食を

6月27日、舟形小学校で1年生の保護者35名が、子どもたちと一緒に「めがみちゃん給食」を味わいました。これは「日本一の給食食育推進事業」として、給食を通じた食育や郷土愛の醸成のため行われているものです。

この日は、きゅうりやマッシュルームなど舟形町産の食材を使った、町出身シェフ考案のレシピメニューが提供されました。親子一緒に食べる給食の時間は和やかで楽しいものとなりました。



### 歴史あるクルマが大集合

6月9日、第8回ヒストリックカーミーティングin舟形がアユパークで開催され、県内外から約15,000名が訪れました。

この日は、1989年までに生産された懐かしの車や、魅力的なスポーツカーなど約150台が集まり、子供から大人までたくさんの来場者を魅了していました。また、会場では鮎ごはんなどの特産品の販売も行われ、オーナーと来場者は、車だけでなく舟形の味覚も楽しんでいました。

## Old Kyu News(令和元年5月)



### 稚鮎さん 大きくなってね

5月30日、舟形小学校2年生34名が、体調8cmほどに育った稚鮎約7,000匹を小国川に放流しました。これは、子供たちに鮎の生態や清流小国川をきれいにすることの大切さなどを知ってもらおうと、小国川漁業協同組合(組合長 高橋光明さん)が毎年行っている取り組みです。

児童たちは、小国川を勢いよく泳いでいくたくさんの稚鮎に、「元気に育ってね」「大きくなってね」などと声を掛けて放流していました。

## Old Kyu News(令和元年5月)



### 山の幸を採り放題

5月26日、松橋わらび園が開園しました。当日は、家族連れや友人同士など開園を待ちわびた約200名が県内外から訪れ、8時の開園合図とともに、それぞれ目当ての場所に駆け上がって行きました。来園者の皆さんは、次々によく育った蕨を摘んでは籠をいっぱいにして、旬の山の幸の収穫を楽しんでいました。

松橋わらび園は、6月下旬まで毎週日曜日と水曜日に開園しています。



### 地域と共にある学校づくり

5月14日、第1回学校運営協議会・保小中一貫教育推進委員会が中央公民館で行われました。学校運営協議会制度(コミュニティスクール)は学校と地域をつなぎ、多様なかかわりをもって子供たちを育もうという取り組みです。

この日は保護者・教育員・地域のみなさん24名が出席。大石田町の本多教育長の講演の後、「令和元年こんな学校にしたい」というテーマで話し合いをし、活発な意見交換がなされました。

## Old Kyu News(平成31年4月)



### 長沢集学校へ行こう

4月20日、長沢集学校で子供向けの春イベントが行われました。これは長沢集学校が企画したもので、段ボールで作られた迷路やバルーンアートなど、子供たちが楽しめる催しが準備されました。

参加した子供の一人は、「段ボールの迷路が何回も挑戦したくなるぐらいおもしろかった」と話してくれました。また、この日はボランティアサークル「ふなっ子」も参加。バルーンアートを一緒に作るなど、子供たちと交流を図っていました。



### 町民の健康を支える『舟形クリニック』開院

4月1日、みなさんが待ちわびた「舟形クリニック」が開院しました。町にとってなくてはならない大切な医療機関として、これから町民の健康と地域医療の推進をしていきます。